

社会福祉法人三陸福祉会

特別養護老人ホームさんりくの園 岩手県大船渡市

【贈呈理由】 地域防災拠点として蓄熱槽に防災水槽の機能を持たせたヒートポンプ蓄熱システムの導入



特別養護老人ホーム さんりくの園

地域防災対策拠点の役割も担う「さんりくの園」

社会福祉法人三陸福祉会は、西は北上山地、東は雄大な太平洋を望む岩手県沿岸南部にある三陸海岸の恵まれた自然の中で、1992年に設立された。地域社会における福祉の充実を目指し、93年に「特別養護老人ホームさんりくの園」を開所し、地域に根ざした介護サービスを行ってきた。2011年3月11日に発生した東日本大震災の大津波により施設が大きな被害を受けたため、震災後は仮設施設での事業運営を余儀なくされた。その経験から新設にあたっては、高台への移設や防災面にも配慮

した設備構築を図り、14年2月に新館が完成した。

経済性に加え、防災面にも配慮したシステムを導入

設備の特徴としては、空調には空気熱源ヒートポンプチラーと地下蓄熱槽を組み合わせた水蓄熱式空調システム、給湯にはエコキュートを導入している。割安な夜間電力を使用し蓄熱する「蓄熱式の空調・給湯システム」を採用することにより、大幅なコスト削減を実現した。また、夏季のピーク電力、環境負荷の低減につなげた。

防災面でも災害時には、蓄熱槽に蓄えられている約210tの水を生活用水・消

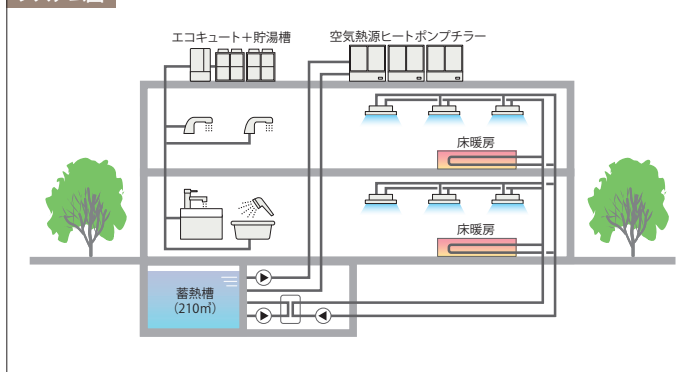


空気熱源ヒートポンプチラー

『防災対策拠点』としての役割も担っている。

これから高齢化の時代を迎えるにあたり、より質の高い介護福祉サービスの提供に努め、地域に貢献できる、愛される施設を目指している。

システム図



防水用として供給することが可能である。また、大型の非常用発電機を設置し、万が一の停電時における照明・通信機能を確保し、地域の方々の避難場所や

社会福祉法人 三陸福祉会 特別養護老人ホーム さんりくの園

所在地：岩手県大船渡市三陸町越喜来字所通91
建築設計：(有)池田菅野建築設計事務所
建築施工：匠建設・正三建設特定共同企業体
蓄熱設備設計：(株)ヤマト
蓄熱設備施工：(株)ヤマト
延床面積：約5,000㎡
竣工：2014年(新設)

■蓄熱設備概要
水蓄熱式空調システム
熱源機：空気熱源ヒートポンプチラー 136kW×3台
[日立アプライアンス]
蓄熱槽：約210㎡(冷温水槽)
エコキュート 460ℓ×16台[東芝キャリア]